

西部地区陸上競技大会における新型コロナウイルス対応について

【大会当日の提出物】

- ・「健康調査一覧表」・・・顧問、外部指導者、出場生徒、写真業者など各学校の来場者全員分の大会2週間前からの体調をまとめ、提出する。
- ・「大会参加同意書」・・・出場生徒全員分の同意書を回収し、提出する。

【保護者の入場について】

昨今の新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、感染の拡大が続いていることから、本大会は保護者の入場を認めず、無観客試合となります。生徒の安全確保を最優先とし、生徒のための大会であることをご理解いただきますよう、お願い致します。

顧問・選手の皆様にむけて

① 検温、健康チェックの実施

選手は、各校で指定されている「健康観察票」を活用し、大会2週間前から検温等、健康チェックを実施すること。

以下の場合には当日の出場と来場を認めない。

- ・37.5度以上の発熱が見られる場合。
- ・かぜの症状(咳・咽頭痛など)がある場合。

② マスクの着用

来場するすべての方はマスクを持参し、着用することを義務付ける。選手はウォーミングアップ、レース・試技の時は外すことを認める。ただし、マスクを外した時は会話を控えること。

③ 手洗い、うがい、消毒の徹底

大会当日、競技場内に消毒液を設置する。こまめに手洗い、うがい、消毒をすること。特に、競技前、競技終了後は確実に行うこと。そのために、各校でも消毒液を必ず持参し、ベンチ内で消毒ができる環境づくりを徹底すること。

④ 3密・飛散防止への対応

以下の内容を徹底すること。

- ・各校応援席、招集場所、スタート前待機場所などでは、通常以上の間隔(2m以上が望ましい)を取ること。
- ・生徒の集団応援は禁止とする。応援席では必ずマスクを着用し、大きな声を出しての応援はしない。
- ・朝の場所取りは禁止とする。開門前の時間に門に並んだり、大勢で集まったりすることがないようにする。そのため、スタジアムへの入場ゲートと1層目コンコースの各校ベンチの場所を事前に指定する(別紙参照)。門は、正面入り口とサブトラック側入り口の2箇所を空ける。
- ・競技結果の掲示は行わない。大会速報を実施する。大会終了後、西部陸上競技協会 HP に掲載する。

⑤ 接触(直接的・間接的)の防止

以下の行動は控えること。

- ・握手、ハイタッチ、マッサージなどの身体的接触はしない。
- ・飲み物、タオル等は他人と共有しない。

⑥ ごみの持ち帰りの徹底

唾液や汗が付着したのも出てくるため、各自ごみ袋を用意し、各自で持ち帰ることを徹底する。当日競技場のごみ箱は使用できない。また、公園内に設置してあるごみ箱に捨てることも禁止とする。

⑦ 会場入場生徒の制限

大会会場への入場者数を減らすため、会場への生徒の入場は、出場選手のみに限定する。くれぐれも試合のない生徒や、1, 2年生、引退した3年生などが入場しないよう、徹底すること。

⑧ 学校関係者、アルバム業者の入場について

学校関係者（校長、職員など）は各校の「健康調査一覧表」に名前が載っていること。入場の際には各校の身分証を首からかけて入場する。

卒業アルバム業者は大会2週間前から静岡陸上競技協会 HP に載っている【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシートを活用し、検温等、健康チェックを実施する。本部にて検温を行い、入場をする。その際、撮影許可証を首からかけること。

大会当日の注意事項

※日本陸上競技連盟より「競技会開催について」のガイドラインが出されました。以下の点について、各校顧問は選手に徹底するよう指導をお願いします。

○招集

招集所では以下の点に注意する。

- ・マスクを必ず着用すること。
- ・Tシャツ、ジャージを脱いで審判員が触ることなくナンバーカードの前後が見えるようにする。
- ・招集所での密を避けるため、招集時間を細かく区切る。そのため、各自の招集時間について、責任をもって把握すること。また、招集時間より早く招集所に来ることのないようにすること。
- ・800m、1500m、3000mは主催者が用意をしたシールタイプの腰ゼッケンを使用する。招集所で受け取ったら、右腰に貼ること。レース終了後は各自で処分をすること。

○ウォーミングアップ

- ・ウォーミングアップは個人で行い、密にならないようにすること。
- ・サブトラックは、周りとの間隔を十分に保って使用すること。

○競技中

- ・競技中に倒れ込んだ選手については、役員で対応する。
- ・トラックレースでゴールした選手は、ゴール後各自で手洗い、洗顔を徹底する。また、ゴール地点に設置されている消毒を使い手指の消毒を徹底すること。
- ・フィールド種目では、試技を待つ際のテント内は周りとの距離を保って座ること。
- ・砲丸投では、試技後に消毒を行う。
- ・砲丸投、棒高跳で滑り止め（炭酸マグネシウム）を使用する場合は、各自で準備をすること。